

# 知的障害者運動 広島で全国大会

# 自立支援法 改善を訴え

知的障害者自身による権利運動「ピープルファースト」の全国大会が九日、広島市で開幕した。全国から支援者を含めて約六百人が参加。障害者自立支援法の問題点などを指摘し、「地域で暮らせるためのサポートを」と訴えた。(平井敦子)

「私たちは障害者である前に人間だ」との理念に基づき、各地で活動している。この日は南区のホテルで全体会があり、地元や北海道、九州などの代表者が意見を發表した。昨年四月に施行された自立支援法が定める利用料の一割負担について

「重すぎる」「作業所にも通えなくなつた」などこの主張が相次ぎ、当事者の意見をとり入れた制度づくりを強く求めた。全体会に先立ち、広島市南区の稻荷橋から中区の県庁までの一き余りをデモ行進。横断幕やのぼりを掲げて「自立支援法はいらない」など声を上げた。地元実行委員長の近藤竜治さん(30)は「福山市新市町」は「被害者になるのはいつも弱者。仲間とつながりあって、行動に結びつきたい」と語った。

## 1割負担「重すぎる」



デモ行進するピープルファースト大会 in ヒロシマの参加者たち

「私たちは障害者である前に人間だ」との理念に基づき、各地で活動している。この日は南区のホテルで全体会があり、地元や北海道、九州などの代表者が意見を發表した。昨年四月に施行された自立支援法が定める利用料の一割負担について

「重すぎる」「作業所にも通えなくなつた」などこの主張が相次ぎ、当事者の意見をとり入れた制度づくりを強く求めた。全体会に先立ち、広島市南区の稻荷橋から中区の県庁までの一き余りをデモ行進。横断幕やのぼりを掲げて「自立支援法はいらない」など声を上げた。地元実行委員長の近藤竜治さん(30)は「福山市新市町」は「被害者になるのはいつも弱者。仲間とつながりあって、行動に結びつきたい」と語った。